



活動の様子はこちら

後期 学校評価の結果から

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。主な結果や今後の課題等について検討しましたので、保護者・地域の皆様にお知らせします。

注) 赤色の下線＝目標を達成できていない

赤字＝前期評価より5%以上下がった

青字＝前期評価より5%以上上がった

赤字+黄色マーカー＝前期評価より10%以上下がった

青字+黄色マーカー＝前期評価より10%以上上がった

I 確かな学力(学力向上) *最重要課題

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合/結果
① <u>家庭学習の習慣化</u>	生徒： 64% (1年： 54% 2年： 44% 3年： 85%)
<u>*学年目標時間以上</u>	保護者： 48% (1年： 33% 2年： 15% 3年： 74%)
	*学年目標時間 1年=70分、2年=80分、3年=90分

4月に実施した全国標準学力検査(NRT)の結果を受けとめ、全校体制で授業改善に取り組んでいます。特に今年度は、21世紀社会に求められている資質・能力を育めるよう、学習指導や評価の方法を見直したり、学習用iPadを活用した新しい学び方を取り入れたりするなど、教育課程を改革しました。具体的には、「知識・技能」(基礎・基本)の確実な定着を図るために、中間テスト、期末テストを廃止し、細やかな学習評価ができる单元テストを実施したり、「思考・判断・表現力」の向上を図るために、パフォーマンス課題(実技、作文、レポート、発表等)を取り入れたりしました。その成果もあり、生徒による授業評価(学校だよりではデータを割愛)では、「授業に集中し、積極的に参加している」「知識・技能が向上している」「知識・技能を活用して課題を解決している」の質問項目で、どの教科においても、肯定的評価がとても高い結果となりました。

しかしながら、家庭学習の習慣化は、依然として大きな課題となっています。学校としては課題の質・量を配慮した宿題を定期的に出題したり、单元テストに向けての学習課題を課したりし、家庭学習の習慣化を図りましたが、受験勉強に励んでいる3年生以外は、なかなか家庭学習の習慣が身に付いてきている様子がみられないのが現状です。家庭と連携した方策も取り入れながら、今後も改善を図っていききたいと思います。

なお、2学期、3学期には、全国と比較できる学力調査がないため、後期の学校評価において生徒の学力実態を示す具体的な数値はありません。新年度初めに実施するNRTや文部科学省が実施する全国学力学習状況調査で、今年度の取組の成果や課題を客観的に把握・分析し、新年度の学習指導及び生徒の学力向上につなげていきます。

(裏面に続く)

♣ 3月の予定

5日(火) 同窓会入会式(3年生)
6日(水) 公立高校一般入学試験日(3年生)
*合格発表15日(金)
11日(月) 卒業証書授与式 *給食なし

12日(火)～14日(木)
大阪・京都・奈良修学旅行(2年生)
22日(金) 終業式 *給食なし
25日(月) 離任式

II 豊かな心

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① 学校生活等 (1) 「学校生活の充実」 (2) 「明るく元気な挨拶」 (3) 「思いやりある言動」 (4) 「役割等への責任感」 や「学級への所属感」 *肯定的評価：90%以上	(1) 生徒：98% (1年：96% 2年：96% 3年：100%) 保護者：93% (1年：83% 2年：95% 3年：97%) (2) 生徒：93% (1年：88% 2年：96% 3年：94%) 保護者：88% (1年：79% 2年：85% 3年：95%) (3) 生徒：99% (1年：100% 2年：100% 3年：96%) 保護者：87% (1年：83% 2年：75% 3年：95%) (4) 生徒：100% (1年：100% 2年：100% 3年：100%) 保護者：85% (1年：75% 2年：95%、3年：87%)
② 目標達成に向けた取組 (1) 学校行事への取組 (2) 学級目標への取組 (3) 行事や体験学習での成長 *肯定的評価：80%以上	(1) 生徒：100% (1年：100% 2年：100% 3年：100%) (2) 生徒：96% (1年：92% 2年：96% 3年：100%) (3) 保護者：95% (1年：92% 2年：100%、3年：95%)

生徒の評価と比較すると保護者の評価はやや厳しめですが、学校全体は大変穏やかで落ち着いており、とてもよい雰囲気です。2学期は学校・学級行事や生徒会活動など、生徒が中心となった活動場面が多くありましたが、それぞれが自分の役割を果たし、学校や生徒会に貢献することができていたと思います。

III 健やかなからだ(健康・体力)

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① <u>アウトメディアへの取組</u> *肯定的評価：80%以上	【メディア視聴時間を意識した生活】 生徒：62% (1年：46% 2年：52% 3年：79%) 【きちんとした生活習慣による生活】 保護者：67% (1年：52% 2年：60% 3年：80%)

家庭学習時間とテレビやゲーム、インターネット等のメディア視聴時間は相関があります。元気アップデーでは、メディアの視聴時間を2時間に制限することを意識して生活できているようですが、欲望に負けてしまい、メディア視聴時間が長くなっている生徒も多くいるようです。心身の成長期である中学校時代をどのように過ごすか、ということはとても重要です。今後も規則正しい生活を心がけて健やかなからだを育成できるよう、指導方法や取組を工夫してまいります。ご家庭でもご指導よろしくお願ひします。

IV 地域と歩む(地域貢献)

評価項目・達成目標	肯定的評価の割合／結果
① <u>地域行事や小学生との交流活動</u> *肯定的評価：90%以上	生徒：85% (1年：79% 2年：83% 3年：91%) 保護者：81% (1年：83% 2年：70% 3年：84%)
② 自己有用感 *肯定的評価：90%以上	生徒：96% (1年：96% 2年：100% 3年：94%)

今年度は、3年間、感染症により実施できなかった小学校との合同行事（絆遠足、学園発表会など）を復活することができました。感染症による教育活動の制限もなくなりましたので、今年度の反省を踏まえたり、学校運営協議会などを通じて地域からの「声（要望）」を聞き取ったりしながら、今後も生徒が主体的に取り組める活動を企画・実施したいと思います。